



広報 みなみおくに

発行 南小国町役場 TEL 2-1111 印刷 穴井印刷 TEL 6-3118

町の人口

2月末現在

総人口 5,616人

男 2,654人

女 2,962人

世帯数 1,374

No. **197**

春の全国交通安全運動

4月6日～15日

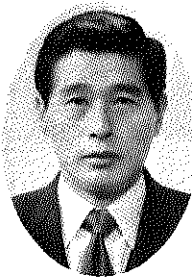
1980

4月号/55

休日在宅医

月日	医院名	電話番号
4月6日	大塚医院	⑥-3221
13日	音成医院	⑥-2069
20日	鶴田医院	⑥-2056
27日	上野外科医院(宮原)	⑥-2033
29日	上野医院(枝立)	⑧-0407

昭和五十五年度 施政方針



町長 藤堂真人

ここに昭和五十五年度の予算案の提出にあたり、施政に対する基本方針を述べ、各議員の皆様と町民の皆様の深いご理解と御協力をお願い申し上げます。

一九八〇年代にはいつて、経済をめぐる諸情勢は、益々不透明さ不確実を増し、国内景気の先行は予断を許さないものがあり物価の安定と経済の自立的拡大の維持をはかり一刻も早く財政の再建を図ることとあります。

それが、町民生活の基本的条件であり、持続的成長を生み出す源であると思います。又エネルギー問題は、日本経済の基幹を揺さぶるほどの深刻な影響を与える危険性をはらんでおり、代替エネルギーの開発にできる限りの頭脳と資金を傾注しなければならぬ。そこで国、県の施策により大規模深部地熱発電所環境保全実証調査地区として豊肥地区を指定し、百拾億円の前算を投じ、五ヶ年計画で

現在調査中であり、地元関係四町で促進協議会を設立し、各町とともに特別委員会を発促して、推進しており調査後の効果的な利用を本町としては大きな期待をかけております。

私の町政に対する基本方針は、「対和と協調」であり、先祖を敬い、老人を大切にし、父母に感謝をする人間形成、何人も健康であることであり、農業と林業及び商工業を基盤とした観光開発をすることが基本であります。

基本達成の為に、本年度より町民の皆さんとの「対話の日」を毎月一回設定し、町政に反映して行くことが二十一世紀へ向けての、人々の創意と活力が十分に発揮されるよう努力することがその環境を整える源であると思ひます。

昭和五十五年度の南小国町、当初予算案の内容について申し上げますと、一般会計予算一四億二、九三四千円で前年度に比して一四・九兆の減であります。これは本町は元より、各地方公共団体が国の補助金、交付金に依存するウェイトが大きく、国の施策に同一歩調を合せ、本町と致しましても将来の財政の展望をるとき、安定政策の処置と致しました。特別会計で国民健康特別会計三億一、八二八千円、農業共済事

業特別会計七、五二〇千円、簡易水道特別会計二、一二四六千円、農地保有合理化促進事業特別会計四、三五二〇千円、営農用水事業特別会計三一、三七千円をそれぞれ計上致しました。

(歳入)

主な歳入を掲げますと、地方交付税六億二、八七七千円で全体の四四兆を占めており、次に国庫支出金三億〇、五八八千円で二・四兆と大きいウェイトを占めております。これに対し自主財源である町税は一億一、二四五二千円、財産収入九、四八六二千円であり使用料及び手数料、諸収入を加えても一九・三兆にとどまり財政運営上非常に厳しい現況を呈しております。

(歳出)

主な歳出面では、農林水産費で三億五、二八四千円、二四・七兆、総務費、三億四、三三二、〇九一七千円、一〇・六兆、土木費一億四、六一七、二〇七、二九、九・二兆となっております。本年度の事業計画を申し上げます。

(教育関係)

教育は私の最も基本とする問題であり、南小国中学校も議会議員の皆様及び町民の皆様の御協力に

よりまして無事完成することが出来ました。後、残された案件は五ツの小学校の問題であります。

本年度一年間で議会議員の皆様と教育委員会の皆様と執行部の三者で十二分に協議して将来の展望をふまえ、基本計画を作り上げたといと考えております。

中学校関係では、体育館ギヤラの床張り工事、各教室のブラインド設置工事、寄宿舎火災報知設備工事等を予定し、小学校関係では市原小学校旧給食室解体及びフェンス工事、中原小学校水道取付工事、満願寺小学校の応接室工事、星和小学校理科教室及び流し台工事、黒川小学校体育館照明修理・玄関土間工事、他校舎の電気配線取替工事等を予定しております。

社会体育面では、五十四年度工事で田の原グラウンドの改修が終了、野球、ソフトボール、三百メートルトラックが完成致しました。

将来の社会体育の展望を考えると、南小国町中央グラウンドの必要性が感じられます。そこで今後の予定といたしまして、昭和五十七・五十八年度までは完成のため努力をしたいと考えております。

また老人の方々の希望と強い要請があつております。中央ゲートボール場の件につきましては、中央グラウンドと同時に設置したいと思っております。

修学旅行経費は引き続き全額町費で負担することとし、教育向上のため奨学資金貸付制度があり、その貸付額の引上げを行いましたので、最大限の利用を御願いたします。

新生活運動については、自然休養村管理センターの落成にともない結婚式等が出来る様になっております。最大限の利用を御願ひ申し上げます。これを機に冠婚葬祭の簡素化改善に町民の皆様と共に一段と努力を致したいと思ひます。

成人式の服装簡素化(特に女性の皆様の着物の廃止)については成人される方々の特別の理解と御協力をいただき五十三年には洋服参加が二十名、着物参加が四十九名、五十四年には洋服参加が五十五名、着物参加が十七名、五十五年には洋服参加が四十二名、着物参加の方が九名であり五十六年には全員が洋服で参加されるものと信じます。成人される方はもちろんの事、全町民の皆様の深い御理解と御協力の賜物であり深く感謝の意を表します。

尚、先般波屋原の皆様の協力と努力と勇断によって冠婚・葬祭の簡素化を町の基本にすつていち早く取り組んで戴いたことは他の模範とするところであり深く感謝の意を表します。併せて花いっぱい運動を推進し、道路・公園等の美化

に努め、明い街づくりの基礎を築きたいと考えております。

産業経済関係

自然休養村事業に於いて瀬の本直売所、大観峰直売所、白川の養漁施設、立岩のワサビ園、管理センターも落成し、格別の御利用を戴きますよう御願ひ申し上げます。

本年度は白川養漁場、立岩ワサビ園の造成、甲の瀬の花木園、かん水施設等を行います。

新農業構造改善事業では、御陰様を持ちまして、大字中原地区の水道の確保が出来ました。本年度事業と致しましては、瓜上外三地区農村広場、中湯田簡易給水施設、生活安全保護施設としてガードレールの設置工事を行う予定であります。

第三期山振事業では、本年度より実施致しますが、農道湯田上線吉原線、牧道中湯田線、農協野菜集荷所、ガードレール四ヶ所、防火水そう二ヶ所、手形野、動目木地区簡易水道を計画しております。

単県土地改良事業として、広戸灌用水路の改修に本年度より補助事業で着手しております。

私共が、今後最重要目標として掲げ推進計画しなければならぬことは、土作りに基盤を置き、特に高原開発事業（約一六億円）着工にともない、畜産の源をなす牧野改良が出来、原野に舗装道路を

入れ、その基礎ができ今後畜産を中心とした生産向上を進めてまい

る所存であります。又農業後継者の育成をはかり、農協事業に対する助成農協青壮年部、農協婦人部生活改善地区連絡協議会及び四日クラブ育成にも力を入れ、果樹園芸、きゅうり、大根、たばこ、養蚕などの振興に努め、価格の安定を確立（野菜価格安定対策補助金一二四万円を計上）し、産物の安定供給に努力すると共に指導を行

いたいと思ひます。尚本年もアメリカより導入した、ひまわりを県と共に誠作を行う予定であります。これは、水田再編対策の一環でもあり、食用油（最高級）コレステロール除去の特効として又種子を食べることもよし、ビール、洋酒のつまみとして、最適であり将来の特産物として期待しております。

林業・入会林野整備関係
継続事業として、立岩線舗装、永山線開設、町単独事業（作業道開設補助）新設事業で、新林業構造改善促進対策実験事業として、上ウツオギ線、野々線の開設、森林組合貯木場の舗装を行います。

また椎茸原木緊急パイロット事業として、原木搬出道を計画の予定です。町単独補助として、生したけ生産向上対策助成の新設、森林組合事業に対する助成、林研クラブの育成、特殊林産物（黄蓮

他薬草）グループの育成、販売、生産の向上を図り、後継者育成の充実を推進するものであります。

入会整備事業は、百年計画の青写真の基礎であり、林野の高率活用、農山村の健全なる発展を促進するものであり、関係各位の御協力を御願ひ申し上げます。

●老人福祉・社会福祉

福祉行政の充実が、時代の転換と共に強く要求される今日、日本のこれから先十年間を展望すると四十歳から五十四歳までの人口層の増加は、これまで十年間の五百六十二万人増から四百十三万人増に落ち、五十五歳から六十四歳の人口層はこれまでの百八十八万人増から四百二十七万人増へと爆発的な規模での増加が予想されている。

人生のうちで、四十歳代から五十歳代にかけての時期は、子供が高校から大学に進む時期に当っており、生活の重荷を一番スッシリと感ずる時であります。

今後お年寄りの健康管理を第一に考えるとき、老人いこいの家、ゲートボールによる体力づくり、寝たきり老人、一人暮らし老人の方々に対する対策は、最も重要であり、本年度もゲートボール場用砂の全面支給、ナイター設備の補助、高令者、優良健康老人の表彰及びはり・きゅうの補助は本年も

継続致します。

社会福祉の充実を図ることは、私の基本方針であり、本町に於ては、民生委員の皆様の御努力により寝たきり老人対策、福祉の向上等に配慮戴き、またこれに対するホームヘルパーを置いて、対処してまいりました。健康管理を重点目標としている今日、胃ガン、子宮ガン、高血圧症等の早期発見に努めており、県及び検診医師の絶大なる御協力により子宮ガン検診では、日本一に近い検診率を誇っております。本年も胃ガン、子宮ガンの検診費を全額町負担とし早期発見、早期治療による治癒促進に万全を期したいと思っております。本年度は、保健婦を配置し予防接種はもとより、町民全員の健康管理を考えると、一人一人のカルテを作成して、健康の促進指導を行う計画であります。

五十五年度に予定しております中原保育園は、都合により五十六年度事業に計画を致しております。

本年度は、全員の入園が希望ど

うり出来ず、誠に申し訳なく、心からおわび申し上げます。

道路、防災、交通安全
国道関係では、竹田・小国線の国道昇格について、十二関係市町村期成会に於て現在、国、県に對し強力に陳情中であり近い将来国道に昇格の予定であります。

道に昇格の予定であります。

県道産山・小国線の新設改良工事、主要地方道、竹田・小国線の新設改良工事、県道市原・小川原線改良舗装工事、河川、砂防では中原川通常砂防工事（ダム）の着工、黒川急傾斜崩壊工事、志賀瀬川（竹の熊・荒倉・矢津田）中原川（二ヶ所）田の原川、改修工事は着々と進行中であります。

尚馬場川については本年度より計画実施の予定であり、（単県改良工事については、一部町が負担している）これも一重に国、県の暖い御指導と御協力によるものです。心から深く感謝の意を表するものであります。

町道関係では、二年計画により道路台帳の整備を行い、石原迫線星和・黒原線、下り戸・柳の草線の舗装工事、中湯田・赤迫線改良工事、町単独事業として小規模改良舗装工事（四メータ以下の道路外計画致しております）。

消防関係では、消防ポンプ自動車（機動分団）の購入、小型動力ポンプ二台更新、ジェットシユウター五〇器の購入、防火水そう五ヶ所、消防車庫シャッター取付工事は本年度二十二ヶ所完成を致します。

交通安全施設で、道路外側線工事、ガードレール、反射鏡は随時取付を行い安全確保に努めます。

商工観光過疎対策

町内商工業者の経営安定の充実を図るため融資制度の拡充及び商工会事業に対する助成、商工会青年部助成、盆おどり大会助成等育成強化に努力するものであります。

過疎対策は、今日最も重要な問題であり、過疎脱皮することを目標とし、企業等の誘致に全力を注いでまいりましたが、減速経済により、企業誘致も思うにまかせず今後、地元特産物を生じた企業開発に取り組み所存であります。

観光面では、国民保養温泉地事業による満願寺遊歩道建設も現在進行中であり、瀬の本、黒川、田の原を中心に町内観光地の諸施設の拡充整備を実施し、南小国町総合開発計画に基き努力するものであります。

◎住宅、環境整備

住宅対策では、五十四年度事業により六戸新築致しました。今後利用度に合せ、逐次建設を行いますが、既存の老朽家屋については関係者の意見を調整しながら検討致したいと思ひます。

簡易水道については、水源の確保、高率の利用配分を行い、給水の確保に努め、総合基本計画を作成することを考えております。

お役に立ちますよう挺身する決意であります。

最後に町議会議員各位を始め、全町民の皆様のご協力と御指導、御鞭撻を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。昭和五十五年の施政の方針と致します。

ナイター等の使用が有料になります

南小国町内に四つのナイター施設があり、社会体育に活用されています。

さらに、南小国中学校の体育館も同様に活用されています。

現在まで、これらの施設は無料でしたが、年間の電灯料だけで二百万円を超える見とおしとなり、町のふところに響く額となりまして、

そこで、使用料をとるべきではないかとの声もあり、三月議会に「南小国町夜間照明施設等の使用に関する条例」を提案し審議をお願いしましたところ原案どおり可決されました。

そのあらましを説明いたしましたので今後のご協力をお願いいたします。

使用料を徴収する施設
一、南小国中学校夜間照明施設
二、市原小学校

三、中原小学校
四、黒川小学校
五、南小国中学校体育館
使用料

ナイターについては一時間あたり八百円以内、南小国中学校体育館については一時間あたり六百円以内となっています。

徴収方法

照明無人点灯装置（コインを機械に入れること）によって点灯するもの及び現金徴収の方法によるものの二種を考えています。

使用料の減免

町長が必要と認める場合は使用料を減免することが出来ます。

この使用料は、昭和五十五年分から適用されますが、具体的なことがらについては、さらに検討し定めることにしています。

なお小学校の体育館については一年間検討を加えて使用料をどうするかについて結論を出すことにしています。

春の交通安全運動

町内駅伝大会

第五回南小国町駅伝大会は小春日の絶好の駅伝日より恵まれた三月二日に行われた。午前九時、市原小グラウンドに選手役員合せて六百数十名が参加して開会式、大会会長藤堂町長の挨拶、来賓の阿蘇郡陸上競技協理理事長今村氏の祝辞、昨年優勝の黒川Aチームより優勝旗の返還がなされ、大会が開幕された。

大会成績は次のとおり

優勝 湯田A 1時間2分24秒
準優勝 黒川A 1時間2分39秒



町内駅伝大会：優勝 湯田Aチーム



区間賞授賞者

三位 TST 1時間4分45秒
四位 馬場 1時間6分4秒
五位 波居原A 1時間7分
六位 上中原 1時間7分16秒

以上別紙順位の通りでした。

中学生を始め、先生、青年団員交通安全協会役員を始め、小国署の皆さん方には本当におつかれ様でした。

本大会が皆様のご協力をいただき一人の事故者もなく盛会に終了いたしましたことを厚くお礼申し上げます。

陸上部長 岩下 利雄

第5回 南小国町駅伝大会成績表

区間 チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	チーム	順位
湯田 A													湯田 A	1
中中原 A													黒川 A	2
T S T 会													T S T 会	3
市原小学校													馬場 A	4
上中原													波居原 A	5
吉 原													上中原	6
里 組													中中原 A	7
杉 田													吉 原	8
波居原 A													田の原	9
星 和													中原小学校	10
黒川 A													満願寺	11
下中原													市原小学校	12
中原小学校													下中原	13
脇 戸													星 和	14
黒川 B													脇 戸	15
中中原 B													中湯田	16
田の原													里 組	17
波居原 B													黒川 B	18
新 町													中中原 B	19
満願寺													杉 田	20
湯田 B													新 町	21
赤・矢													本 町	22
中杉田													波居原 B	23
中湯田													中杉田	24
馬場 A													湯田 B	25
本 町													赤・矢	26
馬場 B													上 町	27
上 町													馬場 B	28

1位, 2位, 3位区間賞者氏名

	優 勝	準 優 勝	三 位	1 区	2 区	3 区	4 区	5 区	6 区	7 区	8 区	9 区	10 区	11 区	12 区
第一回	馬 場	T S T	湯 田	河津哲文	船水寛治	岩下利雄	皆本秀一郎	高村利幸	観馬勝彦	村上文秋	観馬勝彦	菊池国義	大塚義久	時松正行	河津三善
	1・06・20	1・06・46	1・07・02	6・36 湯 田	4・18 里 組	3・25 T S T	6・20 下 町	7・23 馬 場	3・41 湯 田	6・11 波居原	3・59 湯 田	7・55 馬 場	6・13 波居原	3・59 T S T	2・58 湯 田
第二回	黒 川	馬 場	湯 田	河津哲文	藤堂時治	岩下利雄	松崎郁洋	観馬幸助	武田忠勝	北里和教	後藤昭雄	井野聡彦	大塚義久	西岡宏二	橋本栄二
	1・05・40	1・06・09	1・07・37	6・25 湯 田	4・18 上 町	3・20 T S T	6・25 黒 川	7・08 湯 田	3・19 黒 川	6・27 黒 川	4・14 満願寺	7・41 黒 川	6・04 波居原	3・43 黒 川	2・04 上 町
第三回	湯 田	馬 場	T S T	河津耕治	穴井孝孝	岩下利雄	松崎郁洋	井 芳文	下城照夫	高村利幸	原西明治	宮崎輝信	河津哲文	三島義明	橋本栄二
	1・05・06	1・05・50	1・06・10	6・42 中湯田	4・16 湯 田	3・13 T S T	6・21 黒 川	7・07 黒 川	3・14 黒 川	6・06 馬 場	4・02 T S T	7・38 波居原	5・52 湯 田	3・56 田ノ原	2・58 上 町
第四回	黒 川	T S T	馬 場	久嗣木広	村上吉宏	岩下利雄	秋吉又夫	近藤敬祐	北 敬助	井 和夫	武田忠勝	宮崎輝信	高村利幸	橋本一郎	岩下利雄
	1・03・38	1・04・26	1・05・44	6・02 湯 田	4・05 湯 田	3・15 T S T	6・27 下中原	7・22 黒 川	3・56 T S T	5・39 黒 川	3・53 黒 川	7・23 波居原	5・58 馬 場	3・55 黒 川	3・03 脇 戸
第五回	湯川 A	黒 川	T S T	久嗣木広	橋本一郎	岩下利雄	松崎郁洋	佐藤 亨	田上朝喜	井 和夫	後藤昭雄	観馬信一	穴見彰二	石松茂夫	久嗣伸造
	1・02・24	1・02・39	1・04・45	6・12 湯 田	3・19 黒 川	3・14 T S T	6・50 黒 川	5・31 上中原	3・23 T S T	6・14 黒 川	3・14 満願寺	7・37 湯 田	5・46 黒 川	3・51 黒 川	2・50 湯 田

農家訪問



陣の前 河津俊弘

胡瓜が南小国で栽培され、共販されるようになって、八年の歳月が流れました。

国民年金の特例納付制度をご存知ですか

特例納付の納付期限はあと三ヶ月余りですが、あなたの年金権は大丈夫でしょうか。

特例納付制度は、国民年金に加入しなければならぬのに加入していない人や加入はしていたが保険料を納め忘れていたことにより、年金が受けられなくなっている人のために、過去に滞納した保険料を特例的に納めていただき将来、年金が受けられるようにしようというものです。特例納付

ールで南北小国いっしょに出荷をしていた訳ですが、昭和四十八年から南北別に出荷するようになり昭和五十三年には国の野菜指定産地として指定を受け、現在、部長、副部長を中心に部会員数百五十一名で活動を行なっています。そこで、今回は胡瓜部会員のひとりである陣の前の「河津俊弘」氏をご紹介したいと思います。

俊弘氏が、胡瓜に取り組むそもそのきっかけとなったのは、米以外に何か野菜をつくり、経営を豊かにしようと考えていた時、父の荒雄さんが昭和四十七年、ちょうど胡瓜が共販となった時に、畑に五アールの胡瓜（三東四葉）を作り始めた為、本格的に取り組むことになりました。

それ、夏は仕事の方も合間があるし、胡瓜であれば家族全員でできるところにも魅力があったようです。それからというもの、人に負けない胡瓜を作ろうと思い農協や部会にて行なう栽培講習会や講演会等にも積極的に参加した

の額は、滞納期間一カ月あたり、四、〇〇〇円となっています。保険料を長期間納め忘れていないかもう一度確かめてください。納め忘れの保険料は、早めに特例納付いたしましょう。

今月から国民年金の保険料額が変更になります

国民年金は、加入者が歳をとったり、障害者となったり、母子世帯になった場合に年金を支給して生活の安定を図ることを目的としています。このため支払う年金額も物価の変動に値うちが下がらないよう物価にスライドすることとはもちろんのこと給付水準の見

直しを行っています。昨年もこの措置により年金額が三・四割引き上げられています。一方、年金給付の財源はみなさんが拠出される保険料の積立金と国庫金などによって賄われていますので、国民年金の財政を健全に保つためには、年金給付の引き上げに伴い保険料の額も引き上げていかなければなりません。

このようなことから、保険料の額が本年四月から月額三、七七〇円に改定されます。なお附加保険加入の方は四、一七〇円に改定されました。

住民との対話

「町長対話の日」の開設について。町民の皆様には、常々町の行政に対し、ご支援とご協力を賜り心から感謝の意を表します。

私共は、激動する社会、経済の中で変りゆく住民意識や、その要求を適確に認識するため、町民の方々と話し合える機会をできるだけ多く作れるよう心掛けておりますが、その一環として毎月定例的に「町長対話の日」を開設いたします。その第一目を次の通り開設しますのでご希望の方は役場企画町民相談室へご連絡下さい。尚申し込み人員の多数による切りやその他日時場所の変更等生じた場合は無線放送にて連絡しますのでご了承下さい。

「町長対話の日」の日程
日時 昭和五十五年五月一日
午前十時～午後四時
場所 南小国町役場（予定）

あなたも健康マラソン走ってみませんか？

第一回杖立温泉ダム湖畔マラソン大会が六月十日行なわれます。主催 小国町杖立温泉観光協会 後援 熊本走ろう会 小国町体協、熊日新聞社

参加資格 女子20才以上、男子40才以上
コース 5 km 岩戸トンネル折返し
10 km 吊橋上折返し
20 km 下釜ダム折返し

開会式 六月八日 午前十時 温泉館
出発 八日午前十一時 西鉄産交バス駐車場

ゴール 温泉会館
申込締切 四月末日 申込数により締切あり

申込先 杖立温泉観光協会
参加料 無料



湯田不老会のあゆみ

S36年5月20日 湯田ときわ会として発足、長男が結婚の時点で会員となる。

38年8月1日 総会にて各組に1名宛の世話人を選定する。

38年9月12日 産交貸切バスにて阿蘇登山。

39年5月20日 本日の総会で、小・中学校に竹ほうき雑布を寄附する事を決議。

39年5月27日 竹田方面日帰り研修旅行（産交貸切バス代20,300円）本日車中に於て今迄の湯田ときわ会を改め「湯田不老会」と改称した。

39年6月20日 竹ほうき70本、雑巾126枚を中原小学校と中学校に寄贈した。

40年3月15日 黒川温泉へ1日入湯旅行。

40年5月4日 竹ほうき67本、雑巾145枚を中原小学校と中学校に寄贈した。

41年4月20日 阿蘇青年の家、仙酔峡、瀬の本、牧の戸峠方面旅行（バス代8,900円）

41年5月7日 竹ほうき72本、雑巾170枚を中原小学校と中学校に寄贈した。

42年4月26日 竹ほうき70本、雑巾188枚を中原小学校と中学校に寄贈した。

42年7月5日 下笠、松原ダム、南小国役場新庁舎見学、杖立にて総会。

42年10月1日 本月より毎月1日15日に天神社及び栗師堂の掃除をすること。

42年10月9日 生柿13箱（りんご箱）菊の花束15束、乾椎茸1.5kg、タオル67枚を持参して熊本善意銀行に預託し、その1部払い戻を受け、盲学校、聾学校、県庁（新庁舎）老人センター、熊日新聞社見学、本日は貸切バス、トラック1台役場より教育委員会の北里吏員が添乗してもらった。

43年4月 同上の件にて熊本善意銀行会長伊豆富人氏より感謝状を受けた。

43年4月25日 竹ほうき86本、雑巾233枚を中原小学校と中学校に寄贈した。

43年5月13日 筋湯温泉1泊旅行、瀬の本クジャク園寒の地獄、大缶地熱発電所。

44年10月12日 甘柿20箱（リング箱）を熊本善意銀行預託（送料役場負担）

44年3月29日 菊池方面旅行、大津～駄護地蔵尊～菊池神社～入湯。

44年5月15日 竹ほうき93本、雑巾211枚を中原小、中学校、保育園に寄贈した。

45年3月26日 本日の総会にて、会則制定、副会長、会計、会旗を作る事を決議。

45年3月29日 再び下笠、松原ダム見学、杖立入湯。

45年5月10日 竹ほうき79本、雑巾234枚を中原小学校、中学校、保育園に寄贈。

45年5月26日 熊本善意銀行会長伊豆富人氏より感謝状を受く。

45年9月15日 湯田不老会会旗製作（湯田部落より寄附代価50,000円）

S46年4月24日 竹ほうき64本、雑巾210枚を中原小、中学校、保育園に贈る。

46年5月6日 基本金造成の為、波多辺原野にワラビ採取行き。

46年5月11日 1泊旅行、立野大橋～県畜産試験場～山鹿神社～老人憩の家～鹿の湯ホテル1泊～熊本市内～熊本飛行場。

47年7月6日 産交バスツアーにて平戸、長崎方面1泊旅行。

47年6月17日 竹ほうき55本、雑巾77枚を中原小、中学校へ贈る。

48年5月16日 竹ほうき84本、雑巾121枚を中原小、中学校へ贈る。

48年7月19日 産交バスツアーにて、宮崎、エビノ高原1泊旅行。

49年3月31日 総会にて従来の天神社掃除に加えて公民館も掃除すること。

49年6月28日 缶湯温泉へ2泊3日の旅行。

49年5月24日 竹ほうき94本、雑巾136枚を中原小、南中に贈った。

49年7月20日 竹ほうき作り講習会、講師河津寛氏

50年10月20日 水俣、湯の児温泉1泊2日旅行（鉄道）33名。

50年12月15日 高村主事を招きゲートボール講習会（於天神社）

51年3月29日 従来は各自持参にて竹ほうきを寄附していたが、本日合同にて竹ほうき作り（熊日新聞掲載）竹ほうき110本、雑巾47枚を町に寄贈（29名）

51年8月22日 湯田公民館に掃除機を寄贈した。

51年10月20日 人吉地方1泊旅行、球泉洞、人吉城、球磨川下り、十条製紙。

52年4月2日 竹ほうき作り（34名）120本、雑巾96枚製作役場へ寄贈。

52年5月12日 湯田公民館に拡声機を寄附した。

52年7月1日 全会員ゲートボール用、揃いのユニホーム（ネーム入）を新調した。

52年10月20日 天ヶ瀬温泉1泊旅行（21日高塚地蔵尊詣り）

53年3月25日 竹ほうき作り（25名）120本、雑巾106枚を役場に寄贈した。

53年6月26日 国東半島廻り（寺院）別府1泊旅行。

53年7月12日 基本金造成の為竹ほうき作り（26名）15日分を合せ189本

53年11月6日 別府温泉2泊3日旅行、アフリカンサファリー、楽天地（24名）

54年2月23日 別府温泉10泊旅行（21名）臼杵の石仏風連鐘乳洞。

54年4月25日 竹ほうき作り（28名）120本と雑巾94枚を役場に寄贈した。

54年6月27日 別府温泉3泊4日入湯旅行。

54年10月16日 町制施行10周年記念式典に於て、多年公共奉仕の業績に依り町より感謝状並びに記念品を受ける。

部落だより

町民文芸俳句

馬頭観音春まつり

雲雀が朝早くから鳴いて
いた。今日三月十日の観世

音の春祭りの天気は上々だ
寄進の旗が春風に靡く参道

をゆつくりと登。杉の幹の美しい
日当りの良い左手の山から笹鳴き

もふと聞えて来た。畦道には落の
臺の姿も見える。上中原公民館に

は小国郷の俳句同好者が集まりこ
の牛馬祭りの句会をひねもす楽し

んだ。
草餅、芹和え、蕨和えも出て、
句会の後の茶話会も又一入賑った

若草会
蓬餅夜更けに搗きて牛馬祭
春昔ふく枡場の中の観世音

河津 春兆
牛馬祭蓬餅搗き煮して
初ひばり一町田下タ田の上に鳴く

河津 青山
赤色の絵馬を授けて牛馬祭

杉 千代志

美しい小国郷作りに
御協力下さい!!

町内のあちこちに無秩序に貼ら
れた。ポスター、立看板の類が目
立つようです。

美化風致を維持し、住民の危害
を防止するため、熊本県屋外広告
物条例では、電柱、街灯柱その他

初産の牛の護符うけ牛馬祭

杉 千代志

祝ごとのすみし物千日脚伸ぶ
欲ばりし願ごとなり山笑う

杉 伸子

春馬屋に牛の絵護符をうけてきし
両膝を石に揃えて芹洗ふ

本田 菁爽

観世音牛馬祭の春炉燃え
村一日牛馬祭や水温む

川津佳津美

里芋も餅も仏の炉にやくる
牛馬祭午後の人出に苗木買ふ

佐藤 淡竹

苗木売る村の若衆の祭酒

電柱の類、道路標識、橋、トンネ
ルなどの道路施設、学校、公民館
など公共の建物、石垣等には、ビ
ラ、ポスターなどの広告物も掲示
することが禁止されています。

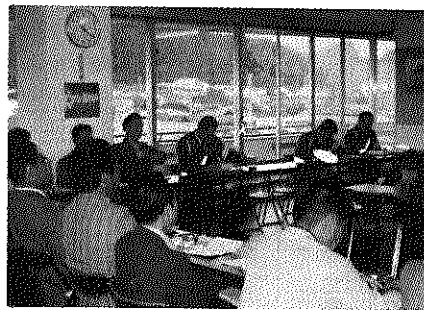
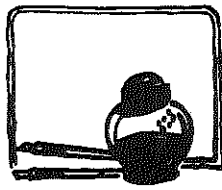
お互に法規を守り美しい住み良
い小国郷作りにご協力ください。

接待の赤飯係春まつり

日隅湯風呂

落の臺牛馬祭りの人流れ
落の臺車を降りて歩きもし

石橋 郷翠



春の全国交通安全運動打合せ会

学童(園)児の交通事故をな
くそう!!

春の全国交通安全運動実施中

四月六日(日)～四月十五日(火)
今年度のスローガンは「話し合
う家庭に広がる交通安全」をテー
マに運動が実践されます。

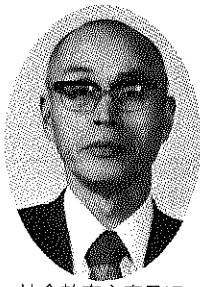
◎歩行者、特に新入学園児を中心
とした子供の交通事故防止。
◎自転車、安全利用の促進。
◎安全運転管理の充実と安全運転

の確保。

本町も皆さんの家庭から非惨な
交通事故を出さないよう、家庭ぐ
るみの対話の時間を持ちましょう。

戸籍明暗

生年	出生者	保護者	住所
1・30	藤田 剛	博文	新町3
2・14	井野 美春	光春	田ノ原
2・14	武田愛一郎	邦典	樋ノ口
2・16	長野 充尚	公明	黒川
2・17	日野 多恵	米蔵	長迫
2・22	武田 安代	秀二	黒川
3・1	佐藤 祐司	秀治	中村
3・6	秋吉 敏充	邦生	松ノ木
死亡	死亡者	喪主	住所
2・28	室原ハルエ	正吾	矢津田
2・28	佐藤カトリ	一三	吉原
3・8	北里 トモ	久之	志津中
3・14	堀川 マチ	深吾	中湯田
3・15	北 寶隆	千光寺	



社会教育主事勇退
高村辰雄(森園)



赤馬場婦人会長
中村八重子(上町)



中原婦人会長
石橋スイ子(米山)



満願寺婦人会長
森 スズ(田ノ原)



子き みの
ゆの 馬村
鞭村

★時の人 ★我が道を行く ★時の人 ★我が道を行く ★時の人 ★我が道を行く ★時の人 ★我が道を行く